

令和4年度

学生による授業評価 アンケート実施結果報告書

—授業の質的向上と発展を目指して—

東北大学大学院農学研究科・農学部
評価室

目 次

はじめに	1
I. 学生による農学部 の授業評価.....	2
1. アンケートの実施方法	3
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析(講義)	3
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. アンケートの集計結果の分析(実験・実習)	15
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
4. 参考資料	23
1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙	
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙	
2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率)	
3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について	
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について	
4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について	
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について	

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価	34
1.アンケートの実施方法	35
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析	36
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. 参考資料	46
1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙	
2) 授業評価実施科目表（科目別受講者数およびアンケート回収率）	
3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について	
4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について	

はじめに

農学研究科・農学部での授業評価は、学生によるアンケートを1998(平成10)年度の2学期と翌年度の1学期に初めて実施し、2003(平成15)年度以降は毎年実施しています。毎年実施されるようになって2022(令和4)年度で20年目となります。2018(平成30)年度まで紙媒体で実施していましたが、2021(令和元)年度からはWEBマーケティングツールを利用したスマートフォンによるアンケート実施をしています。また、2019(平成31)年3月作成の報告書からは統計的分析データをPDF化して農学部・農学研究科HPで公開しています。本報告書は2022(令和4)年度の回答結果を2023(令和5)年度にまとめたものです。報告書のとりまとめは1年遅れとなります。

授業評価の直接的な目的は日常の授業の質的向上です。そして、その評価結果は大学の普段の活動状況に関する説明責任を果たすための資料になっています。2022(令和4)年度までの報告書は、第3期中期目標期間(2016年度から2021年度)における授業評価の判断基準として活用され、教育活動の状況は学部が「特筆すべき高い質にある」、大学院は「高い質にある」と評価されました。

農学部の専門教育科目において、2019(平成31/令和元)年度入学生よりクォーター制を導入しましたので、2020(令和2)年度以降は授業評価アンケート対象講義にクォーター制の講義が含まれています。

また、新型コロナウイルス感染が広がった2020年から東北大学は感染拡大防止のための行動指針(BCP)を設定しました。そのレベル変更に伴い、時期によって、全面的にオンライン授業になったり、対面授業を再開したり、再びオンライン授業が原則になったりしました。そのため、アンケート項目をオンライン授業にも対応した項目に修正しました。また、修正に合わせて、学部と大学院のアンケート項目を統一しました。

なお、2021(令和3)年10月1日からはレベル1に引き下げられたため、対面授業にオンラインを併用して授業等を実施する体制になり、2022年度は大部分が対面授業で行われています。1・2年次に主にオンライン授業を受講していた学生にとっては初めての全面的な対面授業であるため、その点が授業評価アンケートにも反映しています。詳しくは本文を参照してください。

最後に、学生による授業評価に協力を頂いた学生諸君と教員の皆様、同評価のための事務作業担当者、並びに評価報告書を取りまとめられた専門委員会の方々に謝意を表します。

令和5年12月

評価室長 冬木勝仁

I. 学生による農学部¹⁾の授業評価

I. 学生による農学部 of 授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学部 of 授業評価は、農学部における専門教育を受講している1年生、2年生、3年生および4年生を対象とした。

2) 実施方針

- (1) 実施は令和4年度に行われた農学部 of 講義と実験・実習を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、前期科目は令和4年5月、後期科目は令和4年11月に周知し、各講義の終了時や、実験・実習については各授業の終了時に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともに、Web上のアンケート回答ページ冒頭にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 各設問に対する回答は、4段階評価で行った。

4) 実施方法 of 概要

- (1) 講義については、令和4年5月下旬および令和4年11月のクォーター終了時の授業時間に、Web上のアンケート回答ページのQRコード読み取り用紙を配布し、学生はQRコードを読み取り、Web上でアンケートに回答した。実験・実習についても、各授業終了時に同様の形で実施した。
- (2) 教務係では、学生の回答データをWeb上からダウンロードして集計を行った。
- (3) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
令和4年度1学期は84科目、2学期は75科目で実施された。講義の履修届者数は1学期3,207名、2学期2,337名、アンケート延べ回答者数は1学期652名で回収率は20.3%、2学期377名で回収率は16.1%であった。
実験・実習の履修届者数は通年で139名、アンケート延べ回答者数は169名で回収率は121.6%であった。

2. アンケート of 集計結果 of 分析 (講義)

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項 of 平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:この講義は必修、選択のいずれですか。

設問②:この講義をどの程度受講しましたか。

設問③:授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週あたりどの程度しましたか？

設問④:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問⑤:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑥:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑦:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑧:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑨:講義を進める速度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑩:オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。

設問⑪:パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。

設問⑫:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑬:講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

(ない場合は、入力不要です。)

設問⑭:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。

(紹介されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑮:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

(課されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑯:講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑰:講義内容はどの程度理解できましたか。

設問⑱:講義の難易度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑲:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:必修か選択かを問う設問である。必修の割合は、1学期は70%、2学期は60%であった。

設問②:出席割合を問う設問である。90%以上出席が1学期は93%で、2学期は92%と同程度であった。

設問③、④:講義に対する学生の取り組みを問う設問である。予習・復習に取り組んでいる割合は1学期で96%以上、2学期で94%以上と高い。講義への取り組みについては、「極めて熱心に取り組んだ」と「熱心に取り組んだ」の合計は1学期で88%、2学期では89%と高く、前年度と同程度である。一方、あまり熱心に取り組んでいない学生が1学期で12%、2学期で11%と1割を超え、前年度と同程度であるが、無視

できない数値である。

設問⑤、⑥：シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスの有用性については、「大いに有用だった」と「有用だった」の合計は、1学期が94%、2学期は90%と高く、また1学期、2学期ともに98%を越える学生がシラバスに沿って講義が行われていると回答している。したがって、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。

設問⑦、⑧：教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1学期、2学期とも95%程度の学生が講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しても、1学期、2学期ともに96%の学生が熱意を感じている。

設問⑨～⑫：教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、両学期ともに96%の学生がほぼ適切だと感じている。令和3年度は前期がオンライン授業を中心にして、後期が対面授業を中心にして行った。そのため教材の受信についての様子を問うた。1学期で93%が支障なし、2学期では96%支障なしと回答している。講義室の開放等の対応が奏功していると思われる。一方で支障ゼロに向けた支援を継続する必要がある。

オンライン、オンデマンドでのパワーポイントや板書については、1学期は88%、2学期は84%の学生が読み易かったと回答しているが、一方で、読みにくかったとしている学生がそれぞれ12%、16%おり、改善に向け精査した対応が必要である。説明については聞き取れた学生が91～92%であり、ほぼ適切だと感じている。

設問⑬、⑭：教材の有用性に関する設問である。オンライン用に動画や資料の配布があった場合の有用性については、1学期は91%、2学期は87%が高いと感じている結果であった。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は1学期は60%、2学期は66%と低かったが、これは未記入が多いことから、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。実際、役に立たなかったとの回答は7%以下であったため、教科書や参考書は有効であったと考えられる。

設問⑮、⑯：宿題・演習の有効性と講義に関する質問や相談等に関する設問である。宿題・演習に関しては、1学期で80%、2学期で約61%の学生が有効性を感じていた。これらの値は前年度同等であった。なお、役に立たなかったとの回答は両学期とも3～5%と低かった。講義に関する質問や相談等については、両学期とも98%以上と学生が適切であると回答しており、適切な対応が行われていたと考えられる。

設問⑰⑱：講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、両学期とも1学期は96%、2学期は93%の学生が理解できたと感じている。難易度についても、両学期とも94%を超える学生が適切であると感じている。難易度の設定に問題はないと考えられる。しかしながら、引き続きわかりやすい講義の実施に努める必要がある。

設問⑲：講義の満足度を問う設問である。1学期は96%、2学期は94%であり、多くの学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 講義に対する学生の取り組みを問う設問と教員の講義の仕方に関する設問に対する評価は、令和3年度と同様に高い水準で評価されていた。
- ② 1 学期、2 学期ともに 98%を越える学生が講義はシラバスに沿って行われていると回答しており、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。
- ③ 95%の学生が、講義内容は準備されており、また講義を進める速度に関してもほぼ適切だと感じている。
- ④ 96%を越える学生が教員の講義を行う姿勢に熱意を感じ、また総合的に満足している。
- ⑤ オンラインの講義もあったが、動画、教材等の資料の有効性を高いと感じた学生の割合が高く、説明について聞き取れた割合は 90%を超えており、適切な講義を提供できていたと考えられる。
- ⑥ 難易度について、93%を越える学生が適切であると感じている。
- ⑦ 講義の満足度は、94%を越える学生が満足したと回答している。

【改善を要する点】

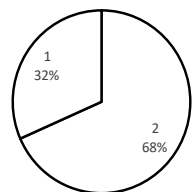
- ① オンライン受講に支障がある学生の割合は低いが無視できない程度に依然としてある。受講環境等の改善、支援が引き続き求められる。
- ② 教室での板書やオンライン、オンデマンドでのパワーポイントについては改善が進んでいるが、一方で、読みにくかったとしている学生が依然として 10%程度いることから、科目別の精査や教員側への働きかけなど、さらに改善に向けた対応が必要である。
- ③ 宿題・課題については、その有効性を高いと感じた学生の割合が比較的低いため、改善を要する。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

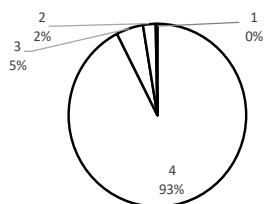
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①この講義は必修、選択のいずれですか。	2 必修	446	68.4
	1 選択	206	31.6
	未記入	0	0.0
②この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	603	92.5
	3 80～89%	32	4.9
	2 70～79%	15	2.3
	1 70%未満	2	0.3
	未記入	0	0.0
③授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を適当たりどの程度しましたか？	4 2時間程度以上	189	29.0
	3 1時間程度	258	39.6
	2 30分程度	165	25.3
	1 全くしなかった	40	6.1
	未記入	0	0.0
④この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	149	22.9
	3 熱心に取り組んだ	417	64.0
	2 あまり熱心に取り組まなかった	83	12.7
	1 全く熱心に取り組まなかった	3	0.5
	未記入	0	0.0

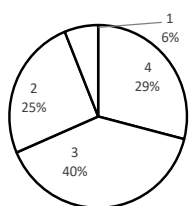
①必修・選択



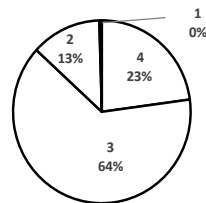
②出席



③予習・復習



④取組み

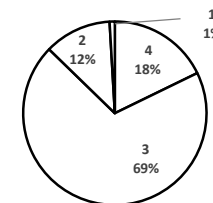


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

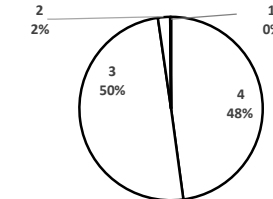
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤授業概要(シラバス)は有用でしたか。	4 大いに有用だった	116	17.8
	3 有用だった	453	69.5
	2 あまり有用でなかった	77	11.8
	1 有用でなかった	6	0.9
	未記入	0	0.0
⑥授業概要(シラバス)にそって授業が行われていたか。	4 行われていた	312	47.9
	3 だいたい行われていた	325	49.8
	2 あまり行われていなかった	14	2.1
	1 全く行われていなかった	1	0.2
	未記入	0	0.0
⑦内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたか。	4 よくされていた	340	52.1
	3 されていた	283	43.4
	2 あまりされていなかった	26	4.0
	1 極めて不十分だった	3	0.5
	未記入	0	0.0
⑧講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	375	57.5
	3 感じた	252	38.7
	2 あまり感じなかった	24	3.7
	1 全く感じなかった	1	0.2
	未記入	0	0.0

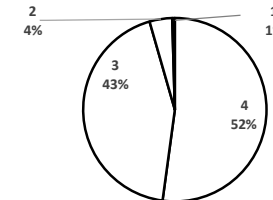
⑤シラバスの有用性



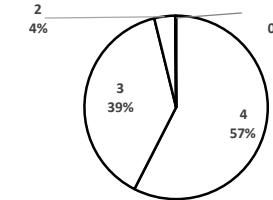
⑥シラバスとの整合性



⑦整理・準備



⑧熱意

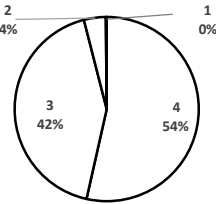


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

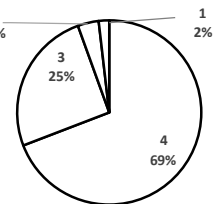
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	349	53.5
	3 概ね適切だった	277	42.5
	2 あまり適切でなかった	25	3.8
	1 全く適切でなかった	1	0.2
	未記入	0	0.0
⑩オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	451	69.2
	3 ほとんど支障なし	165	25.3
	2 時々支障あり	24	3.7
	1 ほとんど受講出来なかった	12	1.8
	未記入	0	0.0
⑪パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	296	45.4
	3 読み易かった	279	42.8
	2 読みにくかった	67	10.3
	1 非常に読みにくかった	10	1.5
	未記入	0	0.0
⑫説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	317	48.6
	3 聞き取れた	285	43.7
	2 聞き取りにくかった	46	7.1
	1 聞き取れなかった	4	0.6
	未記入	0	0.0

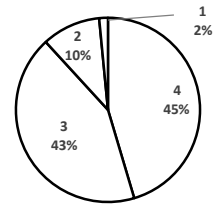
⑨講義速度



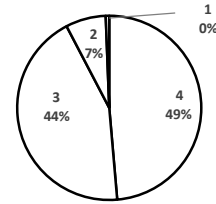
⑩受信



⑪板書



⑫説明

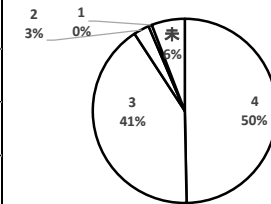


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

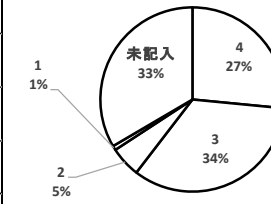
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(ない場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	324	49.7
	3 役立った	268	41.1
	2 あまり役立たなかった	18	2.8
	1 全く役立たなかった	4	0.6
	未記入	38	5.8
⑭教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。(紹介されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	173	26.5
	3 役立った	221	33.9
	2 あまり役立たなかった	35	5.4
	1 全く役立たなかった	5	0.8
	未記入	218	33.4
⑮宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(課されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	247	37.9
	3 役立った	273	41.9
	2 あまり役立たなかった	16	2.5
	1 全く役立たなかった	6	0.9
	未記入	110	16.9
⑯講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	372	57.1
	3 ほぼ適切である	271	41.6
	2 あまり適切でない	9	1.4
	1 適切でない	0	0.0
	未記入	0	0.0

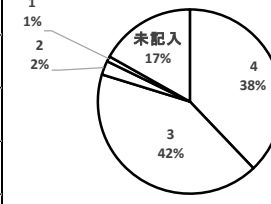
⑬資料・教材



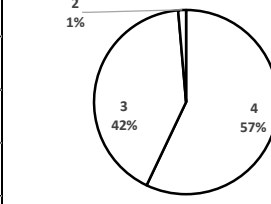
⑭教科書・参考書



⑮宿題・演習



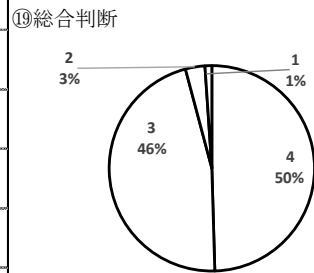
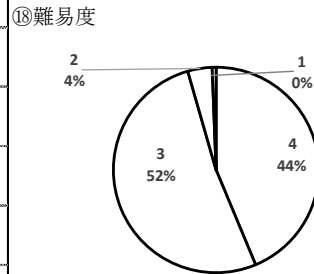
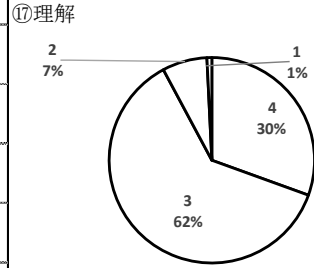
⑯質問・相談



東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

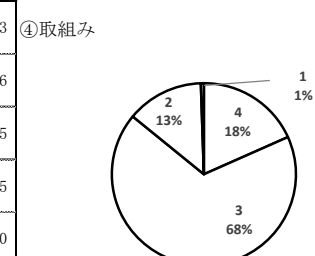
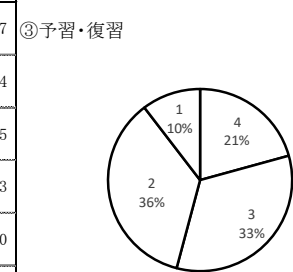
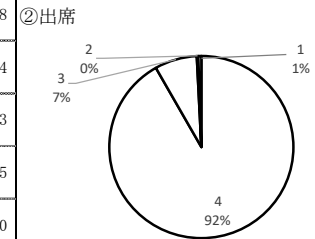
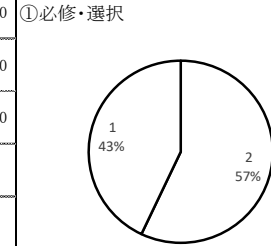
質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑰講義内容はどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	199	30.5
	3 理解できた	402	61.7
	2 あまり理解できなかった	46	7.1
	1 全く理解できなかった	5	0.8
	未記入	0	0.0
⑱講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	285	43.7
	3 概ね適切だった	338	51.8
	2 あまり適切でなかった	25	3.8
	1 全く適切でなかった	4	0.6
	未記入	0	0.0
⑲総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	323	49.5
	3 ある程度満足した	302	46.3
	2 あまり満足しなかった	20	3.1
	1 全く満足しなかった	7	1.1
	未記入	0	0.0



東北大学農学部講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①この講義は必修、選択のいずれですか。	2 必修	215	57.0
	1 選択	206	43.0
	未記入	0	0.0
②この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	346	91.8
	3 80~89%	28	7.4
	2 70~79%	1	0.3
	1 70%未満	2	0.5
	未記入	0	0.0
③授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか？	4 2時間程度以上	78	20.7
	3 1時間程度	126	33.4
	2 30分程度	134	35.5
	1 全くしなかった	39	10.3
④この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	69	18.3
	3 熱心に取り組んだ	255	67.6
	2 あまり熱心に取り組まなかった	51	13.5
	1 全く熱心に取り組まなかった	2	0.5
	未記入	0	0.0

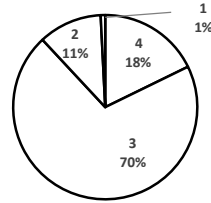


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

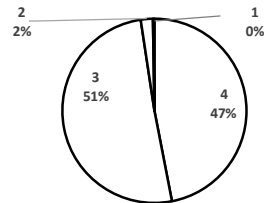
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	67	17.8
	3 有用だった	265	70.3
	2 あまり有用でなかった	42	11.1
	1 有用でなかった	3	0.8
	未記入	0	0.0
⑥授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	177	46.9
	3 だいたい行われていた	191	50.7
	2 あまり行われていなかった	8	2.1
	1 全く行われていなかった	1	0.3
	未記入	0	0.0
⑦内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4 よくされていた	179	47.5
	3 されていた	176	46.7
	2 あまりされていなかった	16	4.2
	1 極めて不十分だった	6	1.6
	未記入	0	0.0
⑧講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	210	55.7
	3 感じた	152	40.3
	2 あまり感じなかった	13	3.4
	1 全く感じなかった	2	0.5
	未記入	0	0.0

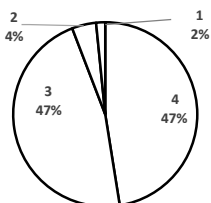
⑤シラバスの有用性



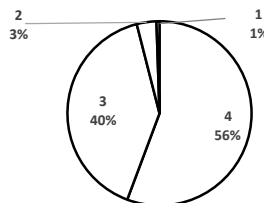
⑥シラバスとの整合性



⑦整理・準備



⑧熱意

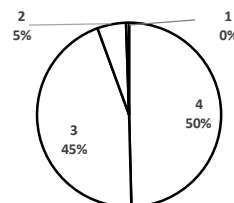


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

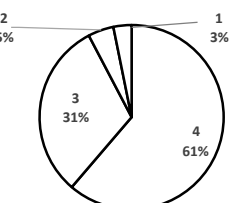
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	187	49.6
	3 概ね適切だった	169	44.8
	2 あまり適切でなかった	19	5.0
	1 全く適切でなかった	2	0.5
	未記入	0	0.0
⑩オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	231	61.3
	3 ほとんど支障なし	117	31.0
	2 時々支障あり	17	4.5
	1 ほとんど受講出来なかった	12	3.2
	未記入	0	0.0
⑪パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	144	38.2
	3 読み易かった	171	45.4
	2 読みにくかった	49	13.0
	1 非常に読みにくかった	13	3.4
	未記入	0	0.0
⑫説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	190	50.4
	3 聞き取れた	154	40.8
	2 聞き取りにくかった	29	7.7
	1 聞き取れなかった	4	1.1
	未記入	0	0.0

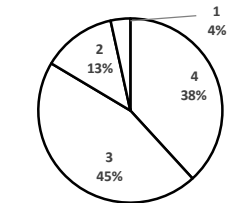
⑨講義速度



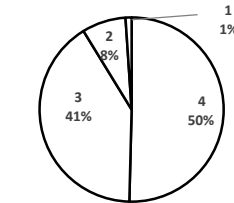
⑩受信



⑪板書



⑫説明

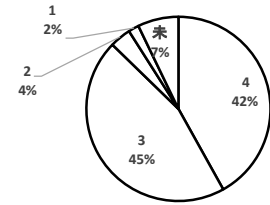


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

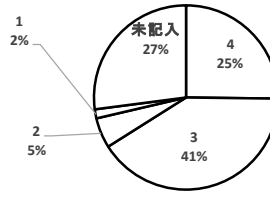
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(ない場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	158	41.9
	3 役立った	171	45.4
	2 あまり役立たなかった	14	3.7
	1 全く役立たなかった	7	1.9
	未記入	27	7.2
⑭教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。(紹介されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	95	25.2
	3 役立った	154	40.8
	2 あまり役立たなかった	20	5.3
	1 全く役立たなかった	6	1.6
	未記入	102	27.1
⑮宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(課されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	99	26.3
	3 役立った	132	35.0
	2 あまり役立たなかった	17	4.5
	1 全く役立たなかった	3	0.8
	未記入	126	33.4
⑯講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	210	55.7
	3 ほぼ適切である	160	42.4
	2 あまり適切でない	5	1.3
	1 適切でない	2	0.5
	未記入	0	0.0

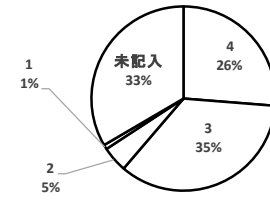
⑬資料・教材



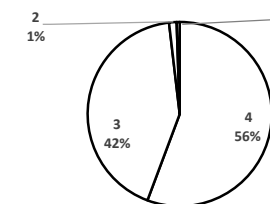
⑭教科書・参考書



⑮宿題・演習



⑯質問・相談

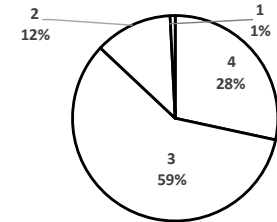


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

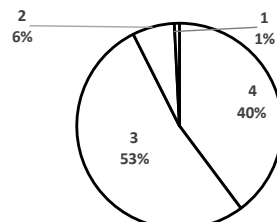
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑰講義内容ほどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	107	28.4
	3 理解できた	221	58.6
	2 あまり理解できなかった	46	12.2
	1 全く理解できなかった	3	0.8
	未記入	0	0.0
⑱講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	150	39.8
	3 概ね適切だった	199	52.8
	2 あまり適切でなかった	25	6.6
	1 全く適切でなかった	3	0.8
	未記入	0	0.0
⑲総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	157	41.6
	3 ある程度満足した	196	52.0
	2 あまり満足しなかった	15	4.0
	1 全く満足しなかった	9	2.4
	未記入	0	0.0

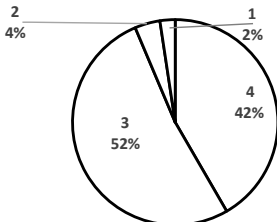
⑰理解



⑱難易度



⑲総合判断



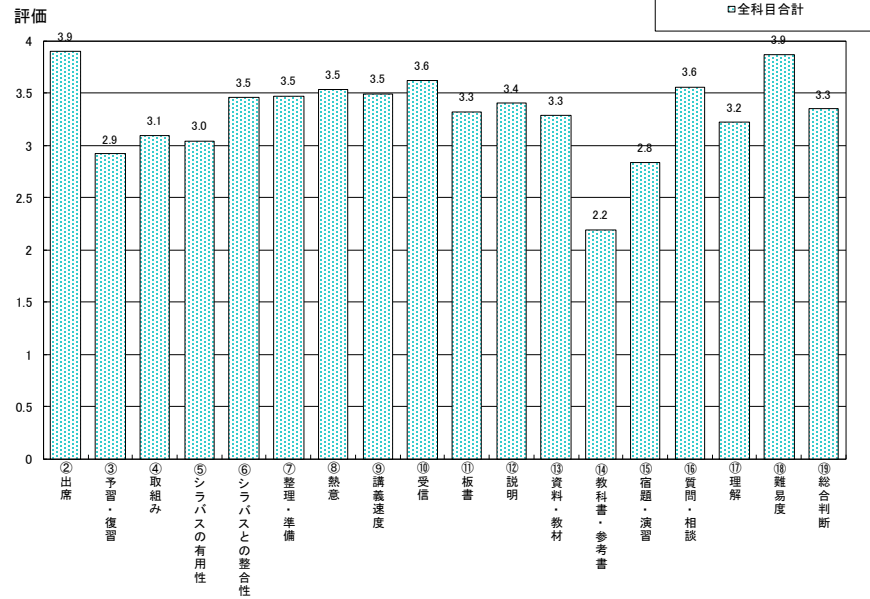
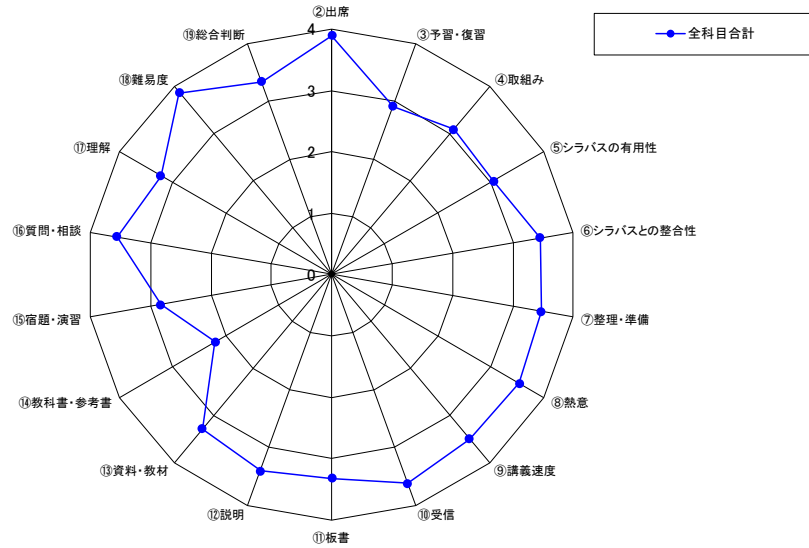
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。ただし、設問①は除いた。出席割合を示す設問②はすべての設問の中で最も点数が高く、1、2学期とも3.9であった。1、2学期とも比較的高い点数と思われる3.4以上となった項目は、⑥シラバスとの整合性、⑦整理・準備、⑧熱意、⑨講義速度、⑩受信、⑫説明、⑬質問・相談、であった。

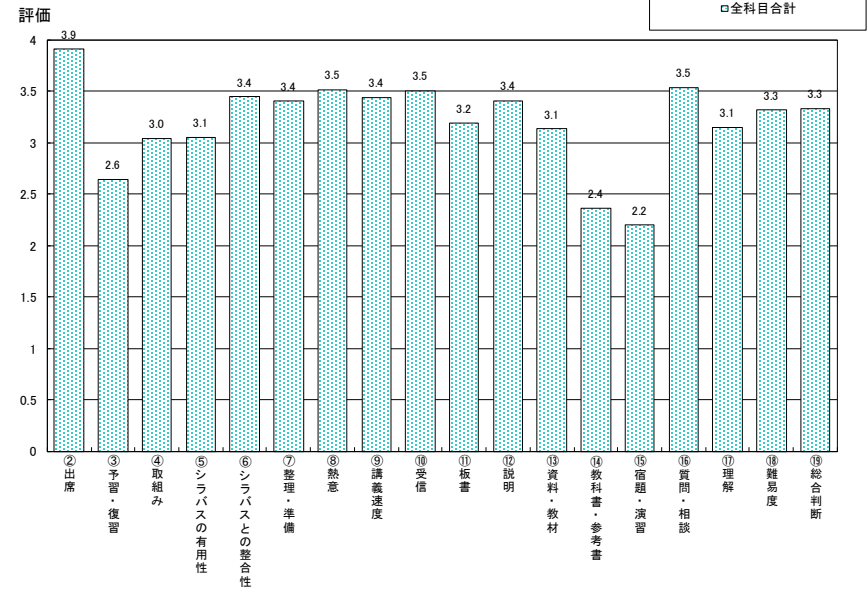
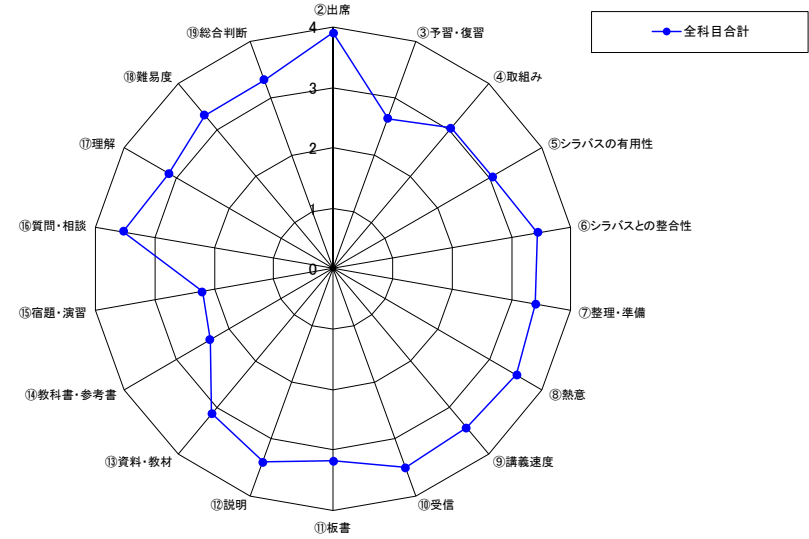
2.5以下の低い評価点数については、⑭:教科書・参考書が2.3と低い。⑮宿題・演習も2学期が2.2と低かった。学生にとって十分な予習・復習が行われるよう科目ごとに精査し、必要に応じた改善を図る必要がある。

なお、以上の評価は、20.3%(1学期)、16.1%(2学期)のアンケート回収率に基づいている(4.参考資料_2)授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(令和4年度))。令和4年度は実験・実習は対面により実施可能になり、また講義も原則対面授業として行なった。アンケートの周知対応については講義科目間で異なり、回収率が70%を超える科目(1学期:昆虫生理生態学、植物発生生理学、科学英語購読I(植物生命科学コース)、広域資源調査学、生命工学、分析有機化学、植物感染応答学、果樹園芸学、ミクロ経済学、動物病態学、資源動物生態学(応用動物科学コース)、農業財政金融論; 2学期:植物系微生物サイエンス、野菜園芸学、植物病理学、科学英語購読II(資源環境経済学コース)、観賞園芸学、昆虫学、環境適応植物工学)が19科目ある一方、0%である科目が60科目に及ぶため全体の回収率が1学期は前年同様低いまま、また2学期では下がったものとする。回収率が0%であった科目についてアンケート調査の徹底をお願いする必要がある。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和4年1学期)
全科目合計



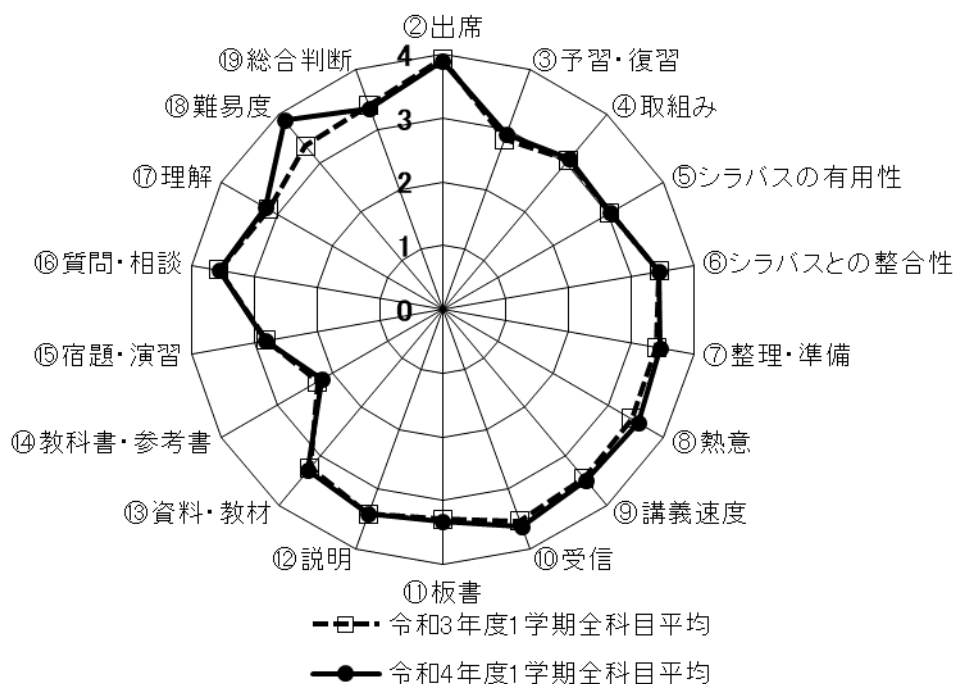
東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和4年2学期)
全科目合計



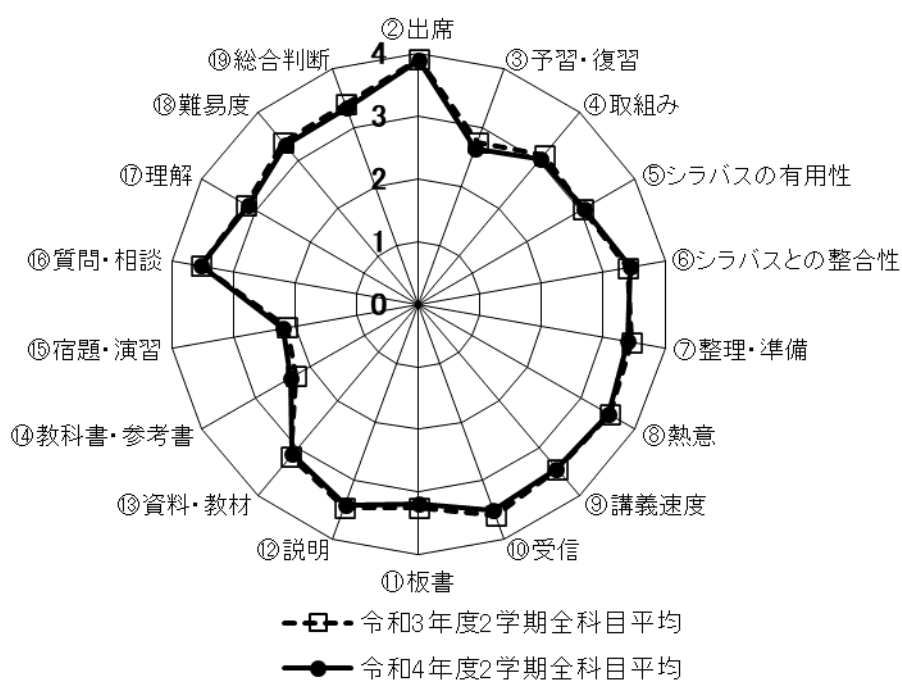
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(令和3年度実施)と同じである。1学期で難易度が適切である点が上昇していた以外は、前回と大きな変化はないようである。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. アンケートの集計結果の分析（実験・実習）

集計結果は、実験・実習全科目の以下の各質問事項において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①：実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。

設問②：各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。

設問③：テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。

設問④：実験機器・設備は十分でしたか。

設問⑤：実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。

設問⑥：劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていきましたか。

設問⑦：実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。

設問⑧：教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑨：TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑩：機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。

設問⑪：レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。

設問⑫：データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。

設問⑬：実験の時間配分は適切でしたか。

設問⑭：この実験科目にあなたは満足できましたか。

設問⑯：この実験に何回欠席しましたか。

設問⑰：この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。

設問⑱：実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。なお、実験・実習については、ほとんどが完全対面形式、もしくは主に対面形式で実施された。

設問①、②：実験・実習の意義・内容の理解および各実験項目に対する配慮を問う設問である。98%以上の学生が、各実験・実習の意義や目的がシラバスや実際の実験を通して理解でき、各実験項目と講義との関係や実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じているようである。

設問③～⑤：テキストや実験機器・設備とその維持状況を問う設問である。テキストや実験機器・設備に関しては、98%の学生が概ね適切あるいは十分と考えていた。また、実験機器・整備に関しても概ね適切に管理されていたとする割合は97%であった。

設問⑥、⑦：実験の安全管理面や後処理指示の適切さを問う設問である。劇毒物等の管理が配慮されていたとする学生87%であった。また、13%の学生は未記入であったことから、コロナ禍で実験が縮小され、毒劇物を扱う機会が限定されたか、認識が不十分であったかのいずれかと考えられる。後処理について

は 99%の学生が概ね適切であったと感じている。

設問⑧～⑩:担当スタッフや TA の指導状況を問う設問である。97%の学生が教員・技術職員が実験の指導に十分な時間を費やし、指導もきめ細やかだったと感じている。TA の指導が十分だったとする学生も 97%であり、TA の指導もきめ細やかだったと感じている。また、実験操作技術への教育は 97%の学生が概ね十分であると評価している。

設問⑪、⑫:レポート課題に関する設問である。すべての学生が、レポート課題が適切であり、内容の理解や考える力を養うに十分であると感じている。また、95%の学生が、データ整理から書き方にいたるまでの指導も概ね十分であると感じている。

設問⑬、⑭:実験科目の時間配分や実験に対する満足度を問う設問である。92%の学生が時間配分は適切であると感じている。また、98%の学生が実験科目に満足を感じていた。

設問⑯～⑲:出席、予習・復習、集中度を問う設問である。99%の学生が欠席なし、または1回欠席と回答しており、出席率は講義に比べて非常に高い。また、予習・復習を 2 時間以上した学生は 46%であり、しなかった学生は 3%いた。一方で、99%の学生が実験・実習に集中できたと感じている。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 98%以上の学生が、意義や目的を理解しており、実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じていた。
- ② 実験機器や設備が十分であり、適切に管理されていると感じる学生が 97%以上であった。
- ③ 教員・技術職員による指導が十分であったと 97%以上の学生が感じていた。
- ④ 実験に対して満足を感じている学生が 98%以上であった。

【改善を要する点】

- ① 予習・復習が 2 時間未満の学生が 50%以上いて、2 時間未満の内訳について知るためにも、本項目について改善の余地がある。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和4年）

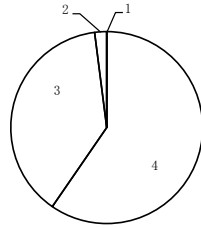
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

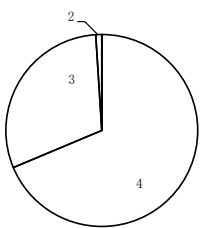
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4 よく理解できた	59	59.6
	3 ある程度理解できた	38	38.4
	2 あまり理解できなかった	2	2.0
	1 全く理解できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていたか。	4 十分配慮されていた	68	68.7
	3 ある程度配慮されていた	30	30.3
	2 あまり配慮されていなかった	1	1.0
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4 適切であった	67	67.7
	3 概ね適切であった	30	30.3
	2 あまり適切でなかった	2	2.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
4. 実験機器・設備は十分でしたか。	4 十分だった	65	65.7
	3 概ね十分だった	32	32.3
	2 多少不十分だった	1	1.0
	1 不十分だった	1	1.0
	未記入	0	0.0

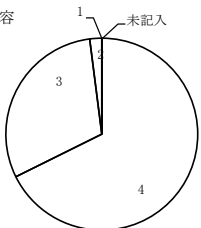
1.理解度



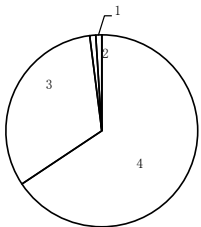
2. 実験項目



3. テキスト内容



4. 実験設備



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和4年）

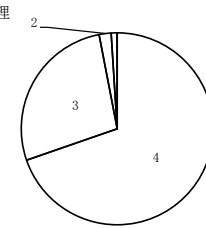
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

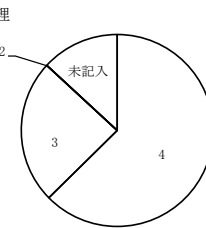
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切にされていましたか。	4 適切に管理されていた	69	69.7
	3 概ね適切に管理されていた	27	27.3
	2 あまり管理されていなかった	2	2.0
	1 全く管理されていなかった	1	1.0
	未記入	0	0.0
6. 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。	4 十分配慮されていた	62	62.6
	3 ある程度配慮されていた	24	24.2
	2 あまり配慮されていなかった	0	0.0
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	13	13.1
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4 適切であった	74	74.7
	3 概ね適切であった	24	24.2
	2 あまり適切でなかった	1	1.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	64	64.6
	3 概ね十分だった	32	32.3
	2 多少不十分だった	3	3.0
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0

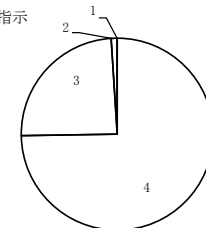
5. 機器管理



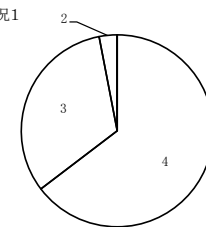
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1



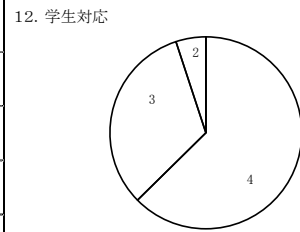
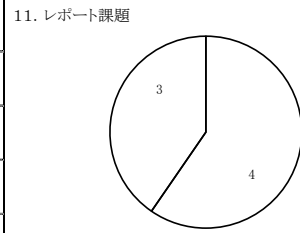
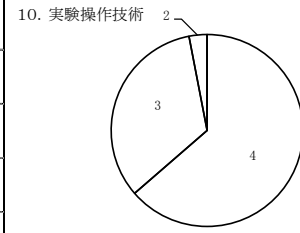
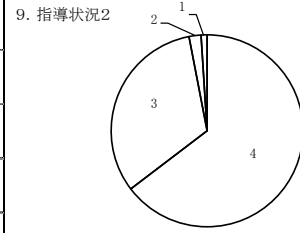
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和4年）

時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	64	64.6
	3 概ね十分だった	32	32.3
	2 多少不十分だった	2	2.0
	1 不十分だった	1	1.0
	未記入	0	0.0
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4 十分だった	63	63.6
	3 概ね十分だった	33	33.3
	2 多少不十分だった	3	3.0
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. レポート課題は適切に選択されましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。	4 大いに役立った	59	59.6
	3 ある程度役立った	40	40.4
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4 十分あった	62	62.6
	3 概ね十分あった	32	32.3
	2 多少不十分だった	5	5.1
	1 不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0



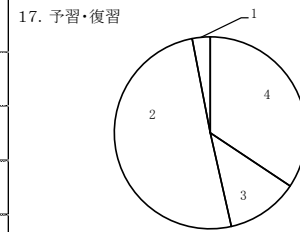
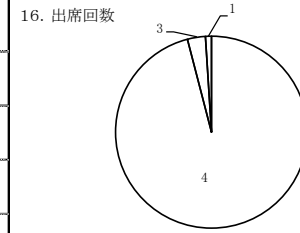
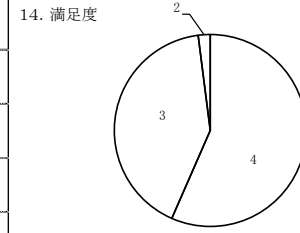
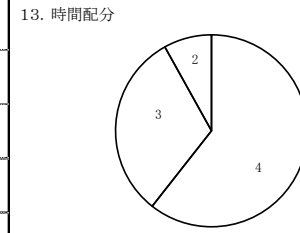
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和4年）

時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 実験の時間配分は適切でしたか。	4 適切であった	60	60.6
	3 概ね適切であった	31	31.3
	2 あまり適切でなかった	8	8.1
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。	4 大いに満足した	56	56.6
	3 ある程度満足した	41	41.4
	2 あまり満足しなかった	2	2.0
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. この実験に何回欠席しましたか。	4 欠席しなかった	95	96.0
	3 1回欠席	3	3.0
	2 2回欠席	0	0.0
	1 3回以上欠席	1	1.0
	未記入	0	0.0
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらかですか。	4 3時間以上	34	34.3
	3 2時間以上～3時間未満	12	12.1
	2 2時間未満	50	50.5
	1 しなかった	3	3.0
	未記入	0	0.0



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和4年）

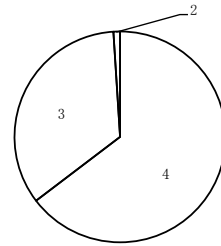
時間割コード : AB0000

授業科目名 : 全科目合計

担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4 大いに集中できた	64	64.6
	3 ある程度集中できた	34	34.3
	2 あまり集中できなかった	1	1.0
	1 全く集中できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

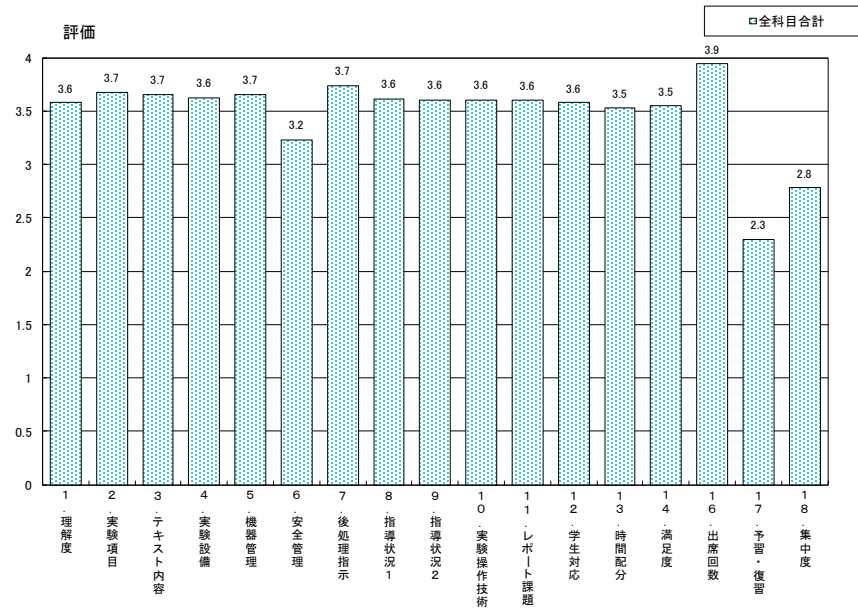
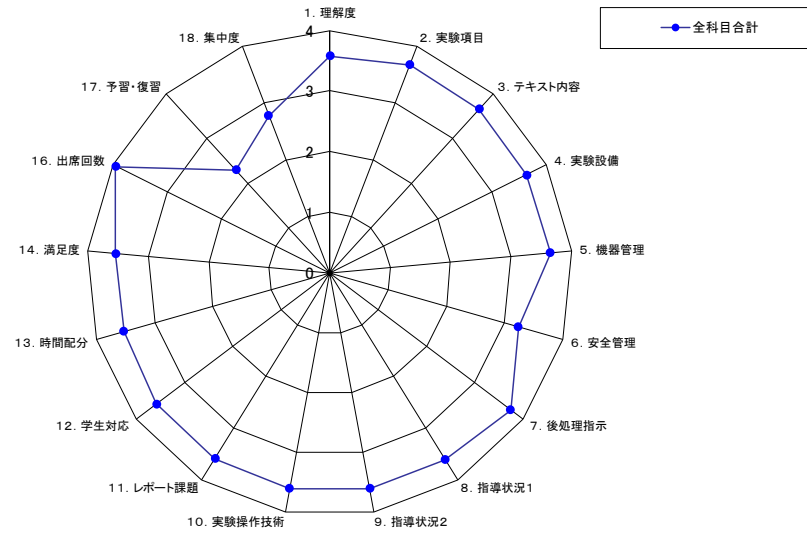
18. 集中度



○実験・実習全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の実験・実習全科目の平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席回数を示す設問⑩はすべての設問の中で最も点数が高く3.9であった。18項目中15項目で3.5以上の点数であり、全体的に高い評価となっていた。一方、平均点より大幅に低かった設問は、⑰予習・復習で2.3および⑱集中度で2.8であった。

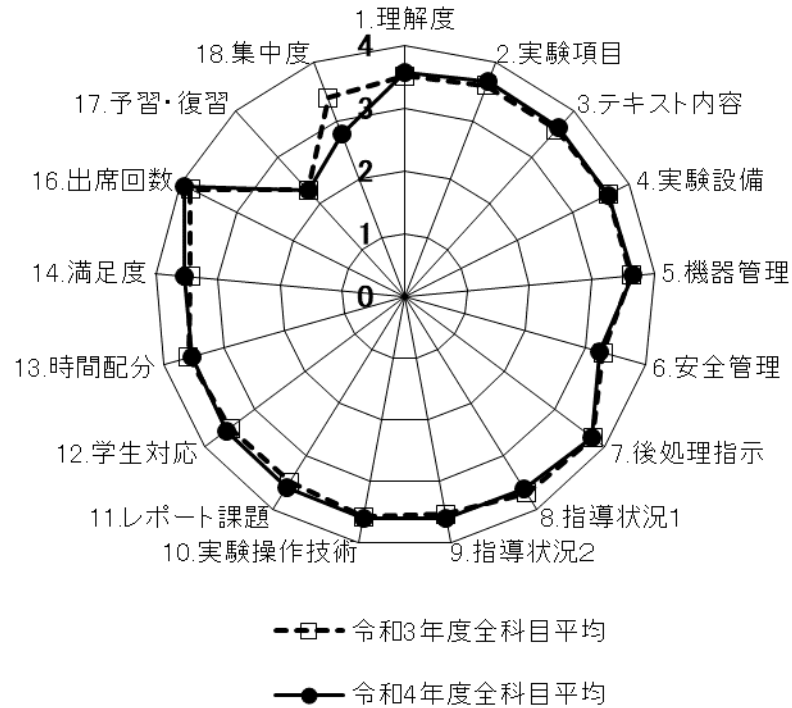
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(令和4年度)
全科目合計



○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(令和3年度実施)と同じである。前回の通年での回答と比べて集中度が大きく低下していた。

前回の実験・実習全科目との比較



4. 参考資料

- 1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙(QRコード)(令和4年度)
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙(QRコード)(令和4年度)
- 2) 授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(令和4年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について

授業評価アンケート（R4前期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/CDHI3ZZN>



学部実験用

<https://questant.jp/q/CSN2GG6K>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/EOMSN3XA>



授業評価アンケート（R4後期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/MVGWWICT>



学部実験用通年

<https://questant.jp/q/CSN2GG6K>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/7W9UO6HS>



東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和4年度1学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	652	3,207	20.3%
AB1101	資源有機化学	63	155	40.6%
AB1111	昆虫生理生態学	14	19	73.7%
AB1113	動物栄養生化学	1	28	3.6%
AB1114	生物海洋学	14	36	38.9%
AB1115	食品衛生化学	22	87	25.3%
AB1121	植物発生生理学	27	35	77.1%
AB1122	水産遺伝育種学	1	33	3.0%
AB1131	食用作物学	0	41	0.0%
AB1132	草地科学	8	29	27.6%
AB1133	沿岸生物学	1	26	3.8%
AB1134	栄養生理学	6	51	11.8%
AB1141	遺伝育種学	7	15	46.7%
AB1202	動物生殖科学	0	28	0.0%
AB1204	植物栄養生理学	12	37	32.4%
AB1205	科学英語講読Ⅰ（生命化学コース）	0	31	0.0%
AB1211	開発経済学	0	10	0.0%
AB1212	動物微生物科学	13	29	44.8%
AB1213	水圏植物生態学	2	27	7.4%
AB1214	微生物生化学	1	42	2.4%
AB1215	科学英語講読Ⅰ（植物生命科学コース）	21	28	75.0%
AB1301	生物化学	0	138	0.0%
AB1311	広域資源調査学	15	19	78.9%
AB1312	動物機能形態学	6	9	66.7%
AB1313	遺伝資源学	5	27	18.5%
AB1314	生命工学	30	36	83.3%
AB1321	栽培植物環境科学	0	36	0.0%
AB1322	環境経済学	0	9	0.0%
AB1331	アグリフードビジネス論	0	29	0.0%
AB1332	酵素化学	30	91	33.0%
AB1401	動物生理科学	1	28	3.6%
AB1402	資源生物生理学（海洋生物科学コース）	2	27	7.4%
AB1403	分析有機化学	33	44	75.0%
AB1405	植物感染応答学	22	28	78.6%
AB1412	ミルク科学	0	63	0.0%
AB1414	生命有機化学	0	31	0.0%
AB1421	科学英語講読Ⅰ（資源環境経済学コース）	0	9	0.0%
AB1422	科学英語講読Ⅰ（海洋生物科学コース）	1	26	3.8%
AB1431	科学英語講読Ⅲ（資源環境経済学コース）	0	2	0.0%
AB1443	微生物学	0	84	0.0%
AB1451	科学英語講読Ⅰ（応用動物科学コース）	0	28	0.0%
AB1501	農学と社会・環境・倫理	0	158	0.0%
AB1502	分析化学	0	108	0.0%
AB1503	経営学	5	11	45.5%
AB1511	果樹園芸学	25	26	96.2%
AB1513	環境システム生物学	0	28	0.0%
AB1514	水産利用学	0	29	0.0%
AB1515	生物制御化学	8	49	16.3%
AB1521	生理・生態学概論	0	159	0.0%
AB1523	物理化学	29	75	38.7%
AB1541	現代における農と農学	0	158	0.0%
AB1542	植物遺伝学	4	27	14.8%
AB1543	ミクロ経済学	10	11	90.9%
AB1551	応用土壌学	3	27	11.1%
AB1561	植物生命科学入門	0	27	0.0%
AB1611	陸圏環境コミュニケーション論	20	158	12.7%
AB1612	水圏環境コミュニケーション論	72	158	45.6%
AB1614	フィールド環境学	32	52	61.5%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB1631	科学英語講読Ⅰ（生物化学コース）	0	28	0.0%
AB1643	動物病理学	2	2	100.0%
AB1645	資源環境経済学特別講義Ⅰ	0	10	0.0%
AB1654	科学英語講読Ⅲ（生物化学コース）	0	28	0.0%
AB1655	科学英語講読Ⅲ（生命化学コース）	0	3	0.0%
AB2121	資源動物生態学（応用動物科学コース）	18	20	90.0%
AB2122	資源動物生態学（海洋生物科学コース）	0	31	0.0%
AB2123	植物細胞生化学	19	34	55.9%
AB2201	農業財政金融論	15	15	100.0%
AB2202	動物遺伝育種学	0	28	0.0%
AB2204	農業経営学	0	10	0.0%
AB2205	生理活性化学	27	41	65.9%
AB2312	水圏無脊椎動物学	0	26	0.0%
AB2325	機能分子解析学	1	31	3.2%
AB2403	魚類学	4	26	15.4%
AB2422	科学英語講読Ⅱ（海洋生物科学コース）	0	25	0.0%
AB2663	復興農学	0	28	0.0%
AB57141	資源環境経済学演習Ⅰ	0	9	0.0%

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和4年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	377	2337	16.1%
AB1151	動物資源開発学	5	17	29.4%
AB1201	農村地域組織論	0	10	0.0%
AB1203	水産資源生態学	1	27	3.7%
AB1221	水質浄化学	0	47	0.0%
AB1324	家畜人工授精論	0	20	0.0%
AB1326	食品タンパク質化学	0	30	0.0%
AB1411	植物育種学各論	5	15	33.3%
AB1413	水圏植物学	4	34	11.8%
AB1415	農業経済政策学	0	11	0.0%
AB1522	政治経済学	0	10	0.0%
AB1533	生物統計学	2	48	4.2%
AB1534	応用酵素学	10	60	16.7%
AB1642	動物寄生体学	0	15	0.0%
AB2101	基礎土壌学	0	35	0.0%
AB2102	生物有機化学	5	66	7.6%
AB2113	食品組織学	0	17	0.0%
AB2114	科学英語講読Ⅱ(生命化学コース)	0	30	0.0%
AB2115	育種管理学	1	11	9.1%
AB2132	学術情報リテラシー	4	28	14.3%
AB2141	植物系微生物サイエンス	34	39	87.2%
AB2143	食品加工学	5	90	5.6%
AB2151	植物生産科学	1	38	2.6%
AB2152	藻類機能学	12	27	44.4%
AB2153	微生物サイエンス	2	24	8.3%
AB2203	水産増殖学	0	25	0.0%
AB2211	比較農業論	4	29	13.8%
AB2212	食品機能工学	0	33	0.0%
AB2221	ハイオインフォマテックス概論	1	76	1.3%
AB2301	野菜園芸学	25	28	89.3%
AB2303	動物生命科学	1	27	3.7%
AB2304	プランクトン学	0	15	0.0%
AB2311	環境・動物福祉学	0	22	0.0%
AB2313	科学英語講読Ⅱ(植物生命科学コース)	0	27	0.0%
AB2314	環境評価学	0	8	0.0%
AB2321	植物病理学	23	28	82.1%
AB2323	免疫科学	12	69	17.4%
AB2324	水産化学	1	54	1.9%
AB2331	森林生態論	10	33	30.3%
AB2333	生命情報解析学	0	31	0.0%
AB2342	動物組織細胞学	21	35	60.0%
AB2343	植物分子生理学	33	53	62.3%
AB2351	遺伝子工学	2	115	1.7%
AB2352	フィールド生態学入門	18	35	51.4%
AB2400	沿岸環境学	7	27	25.9%
AB2402	畜産経営学	1	11	9.1%
AB2404	反応生物化学	2	38	5.3%
AB2413	動物食品機能学	7	71	9.9%
AB2421	科学英語講読Ⅱ(資源環境経済学コース)	9	8	112.5%
AB2461	科学英語講読Ⅱ(応用動物科学コース)	0	26	0.0%
AB2501	植物育種学	0	36	0.0%
AB2502	経済統計学	0	9	0.0%
AB2504	食品化学	2	102	2.0%
AB2511	観賞園芸学	17	20	85.0%
AB2512	動物発生工学	0	12	0.0%
AB2521	昆虫学	26	27	96.3%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB2522	マクロ経済学	0	10	0.0%
AB2523	栄養化学	34	111	30.6%
AB2541	分子生物学	3	135	2.2%
AB2550	環境適応植物工学	19	27	70.4%
AB2552	資源生物生理学(応用動物科学コース)	4	27	14.8%
AB2564	専門科学英語基礎	0	27	0.0%
AB2637	科学英語講読Ⅱ(生物化学コース)	0	28	0.0%
AB2640	水産経済学	0	16	0.0%
AB2645	飼料科学	0	14	0.0%
AB2647	生物工学特別講義	4	54	7.4%
AB2655	科学英語講読Ⅳ(生命化学コース)	0	1	0.0%
AB57142	資源環境経済学演習Ⅱ	0	8	0.0%

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部による授業評価の実施について

令和4年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。
2. 実施方法
授業担当教員から配布されるURLまたはQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答してください。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

令和4年5月

農 学 部 長

掲 示

学 生 各 位

農学部による授業評価の実施について

令和4年度第2学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第2学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。
2. 実施方法
授業担当教員から配布されるURLまたはQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答してください。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

令和4年11月

農 学 部 長

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部の学生による実験・実習評価の実施について

令和4年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることが期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について
令和4年度に開講される実験・実習科目について実施します。
2. 実施方法
実験・実習中に担当教員から配布されるQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答してください。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

令和4年5月

農 学 部 長

掲 示

学 生 各 位

農学部の学生による実験・実習評価の実施について

令和4年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることが期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について
令和4年度に開講される実験・実習科目について実施します。
2. 実施方法
実験・実習中に担当教員から配布されるQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答してください。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

令和4年11月

農 学 部 長

令和4年5月16日

農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力を
願います。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
授業評価の実施は原則として、講義の最終回に願います。
 - (2) 実施方法について
授業を担当している先生方は、授業の最終回にウェブアンケートの
URLまたはQRコードを講義資料やGoogle Classroom等にて学生へ
周知いただき、回答するよう指示をお願いします。
<https://questant.jp/q/CDHI3ZZN>
また、授業の最終回を対面で実施する場合は、授業終了15分前頃に
各講義室の教卓に配置しているウェブアンケートのQRコード読み取
り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取って回答するよう指
示をお願い致します。
 - (3) QRコード読み取り用紙の回収について
QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、
教卓（教務係）へお戻しいただくようお願いいたします。
 - (4) 学生への周知について
学生には、授業評価に協力するよう周知しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、各担当教員に公表します。
 - (3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱
います。

令和4年11月14日

農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第2学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力を
願います。

記

1. 対象授業科目について
第2学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
授業評価の実施は原則として、講義の最終回に願います。
 - (2) 実施方法について
授業を担当している先生方は、授業の最終回にウェブアンケートの
URLまたはQRコードを講義資料やGoogle Classroom等にて学生へ
周知いただき、回答するよう指示をお願いします。
<https://questant.jp/q/MVGWWICT>
また、授業の最終回を対面で実施する場合は、授業終了15分前頃に
各講義室の教卓に配置しているウェブアンケートのQRコード読み取
り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取って回答するよう指
示をお願い致します。
 - (3) QRコード読み取り用紙の回収について
QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、
教卓（教務係）へお戻しいただくようお願いいたします。
 - (4) 学生への周知について
学生には、授業評価に協力するよう周知しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、各担当教員に公表します。
 - (3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱
います。

令和4年 5月16日

農学部実験・実習担当教員 各位

農学部評価室長

学生による実験・実習評価の実施について（依頼）

このことについて、今年度に関講される実験・実習科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いいたします。

記

1. 対象実験・実習科目について
今年度(前期および後期)に関講される実験・実習科目について実施します。
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日をお願いします。
 - (2) 実施方法について
実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取り回答するよう指示をお願いします。
<https://questant.jp/q/CSN2GG6K>
 - (3) QRコード読み取り用紙の回収について
QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、教卓(教務係)へお戻しいただくようお願いいたします
 - (4) 学生への周知について
学生には、実験・実習評価に協力するよう掲示しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、公表します。
 - (3) 実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

令和4年11月14日

農学部実験・実習担当教員 各位

農学部評価室長

学生による実験・実習評価の実施について（依頼）

このことについて、今年度に関講される実験・実習科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いいたします。

記

1. 対象実験・実習科目について
今年度(前期および後期)に関講される実験・実習科目について実施します。
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日をお願いします。
 - (2) 実施方法について
実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取り回答するよう指示をお願いします。
<https://questant.jp/q/CSN2GG6K>
 - (3) QRコード読み取り用紙の回収について
QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、教卓(教務係)へお戻しいただくようお願いいたします
 - (4) 学生への周知について
学生には、実験・実習評価に協力するよう掲示しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、公表します。
 - (3) 実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価

II. 学生による農学研究科の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学研究科の授業評価は、博士課程前期2年の課程で令和3年度1、2学期の授業を対象とした。アンケート用紙は選択肢形式の設問18項目と自由記述項目からなり、満足度、理解度などを調査する形のものである。

2) 実施方針

- (1) 実施は令和4年度に行われた農学研究科の講義を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、令和4年6月下旬と令和5年1月に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともに、Web上のアンケート回答ページ冒頭にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 設問は授業評価のみにしぼり、カリキュラムや施設等に関する設問は設けなかった。全体集計が可能なように各設問に対する回答は4段階評価とし、学部講義、実験・実習の評価と統一した様式で実施した。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、令和4年5月下旬および令和4年11月の各セメスター終了時の授業時間に、Web上のアンケート回答ページのQRコード読み取り用紙を配布し、学生はQRコードを読み取り、Web上でアンケートに回答した。
- (2) 教務係では、学生の回答データをWeb上からダウンロードして集計を行った。
- (3) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
令和4年度1学期は42科目、2学期は20科目で実施された。また、履修届者数は1学期945名、2学期264名、アンケート延べ回答者数は1学期70名で回収率は7.4%、2学期1名で回収率は0.4%であった。

2. アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、全科目の各設問において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:この講義をどの程度受講しましたか。

設問②:授業時間以外に、この授業に関連する学習

(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか？

設問③:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問④:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑤:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑥:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑦:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑧:講義を進める速度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑨:オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。

設問⑩:パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。

設問⑪:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑫:講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

(ない場合は、入力不要です。)

設問⑬:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。

(紹介されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑭:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

(課されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑮:講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑯:講義内容はどの程度理解できましたか。

設問⑰:講義の難易度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑱:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

但し、2学期については集計数が不足しており、概要は1学期の集計に基づいている。今後、各教員の方で授業評価アンケートの記入を促すなど学生への周知を積極的に行っていく必要がある。

設問①:出席状況を問う設問である。80%以上出席としたものが1学期は98.5%であり(70%未満は0名)、高い出席状況である。

設問②、③:学生の講義に対する取り組みを問う設問である。興味を持って積極的な取り組みをした学生は1学期97.1%、1時間以上自主的に学習した学生も1学期85.7%である。

設問④、⑤:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスに講義の目的、内容、成績評価基準が適切に示され有用であったとした学生は1学期97.1%と高かった。また、講義内容のシラバスとの対応についてもほとんどの学生が対応していたとしている。

設問⑥:講義の準備に関する設問である。1学期95.7%の学生が準備されていたと回答している。

設問⑦、⑧:教員の熱意、講義の進度に関する設問である。講義の進度に関しては1学期94.3%の学生が適切だとしており、教員の熱意もほとんどの学生(1学期97.2%)が感じ取っている。

設問⑨、⑫~⑭:講義で使われる機器や教材の有用性、オンライン・オンデマンドの場合の教材の受信状況および課された宿題・演習の有用性に関する設問である。配布された場合に、動画や資料が役立ったとした学生は1学期91.4%であった。紹介された教科書・参考書の有用性は1学期70%と低かった(未記入が多かったことから、教科書・参考書を使用しないケースがあった可能性が考えられる)。オンライン・オンデマンドの受信状況は1学期97.1%が全く問題ない、ほとんど支障ないと回答している。

設問⑩、⑪、⑮:教員の講義の仕方およびフォローアップに関する設問である。1学期100%の学生が教員の声や話し方が聞き取りやすかった、ないしは概ね聞き取りやすかったと感じている。また、板書やパワーポイントの文字の読みやすさに関しても1学期97.2%程度の学生が良好な評価をつけている。講義に関する質問や相談対応に関しては、1学期95.7%の学生が良好な評価を下している。

設問⑯、⑰:講義の理解、難易度を問う設問である。1学期97.2%の学生が講義の難易度をおおむね適切であったとしている。そして1学期97.2%の学生が、よく理解できたあるいは理解できたと回答している。

設問⑱:講義の満足度を問う設問である。1学期95.7%の学生が満足ないしはある程度満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 難易度の設定が適切であった。
- ② 質問や発言による積極的な取り組みをした学生や、自主的に学習した学生の割合が改善されていた。
- ③ シラバスの有用性と、その実際の講義との対応の評価が高かった。
- ④ 教員の声、話し方が聞き取りやすく、かつ教材についてもわかりやすかった。
- ⑤ 講義の準備、進度、教員の熱意、満足度についても評価が高かった。
- ⑥ 講義に関する質問や相談対応に関して評価が高かった。

【改善を要する点】

- ⑦ 講義に関する自主的な学習をあまりしない、あるいは全くしない学生が15分の1程度いた。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

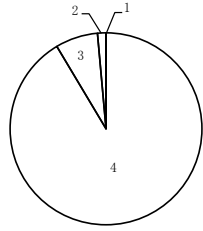
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

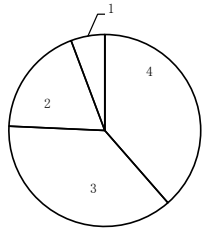
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	64	91.4
	3 80~89%	5	7.1
	2 70~79%	1	1.4
	1 70%未満	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 授業時間以外に、この授業に関連する学習（予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強（予定も含む）等）を適当たりどの程度しましたか？	4 2時間程度以上	27	38.6
	3 1時間程度	26	37.1
	2 30分程度	13	18.6
	1 全くしなかった	4	5.7
	未記入	0	0.0
3. この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	32	45.7
	3 熱心に取り組んだ	36	51.4
	2 あまり熱心に取り組まなかった	1	1.4
	1 全く熱心に取り組まなかった	1	1.4
	未記入	0	0.0
4. 授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	29	41.4
	3 有用だった	39	55.7
	2 あまり有用でなかった	1	1.4
	1 有用でなかった	1	1.4
	未記入	0	0.0

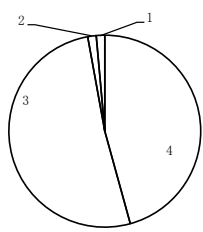
1. 出席



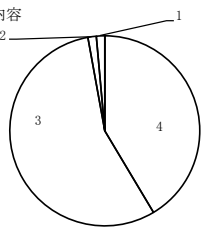
2. 自主学習



3. 興味



4. シラバス内容



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

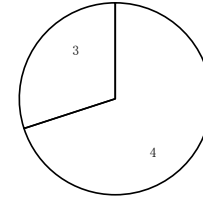
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

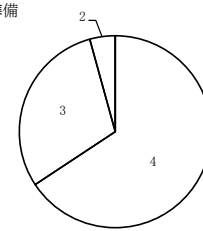
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	49	70.0
	3 だいたい行われていた	21	30.0
	2 あまり行われていなかった	0	0.0
	1 全く行われていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思えますか。	4 よくされていた	46	65.7
	3 されていた	21	30.0
	2 あまりされていなかった	3	4.3
	1 極めて不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0
7. 講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	44	62.9
	3 感じた	24	34.3
	2 あまり感じなかった	2	2.9
	1 全く感じなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	44	62.9
	3 概ね適切だった	22	31.4
	2 あまり適切でなかった	3	4.3
	1 全く適切でなかった	1	1.4
	未記入	0	0.0

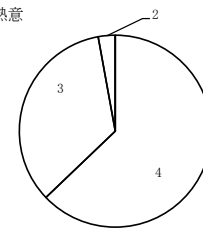
5. 適合性



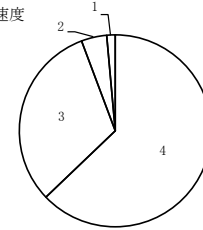
6. 講義の準備



7. 教員の熱意



8. 講義の速度



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

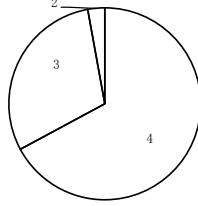
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

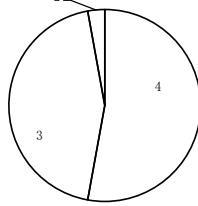
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	47	67.1
	3 ほとんど支障なし	21	30.0
	2 時々支障あり	2	2.9
	1 ほとんど受講出来なかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
10. パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	37	52.9
	3 読み易かった	31	44.3
	2 読みにくかった	2	2.9
	1 非常に読みにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. 説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	47	67.1
	3 聞き取れた	23	32.9
	2 聞き取りにくかった	0	0.0
	1 聞き取れなかった	0	0.0
	3 未記入	0	0.0
12. 講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（ない場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	42	60.0
	3 役立った	22	31.4
	2 あまり役立たなかった	1	1.4
	1 全く役立たなかった	5	7.1
	未記入	0	0.0

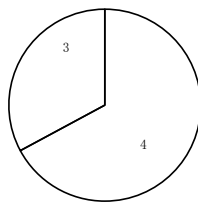
9. 受信



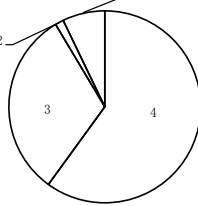
10. 教材



11. 説明の仕方



12. 資料・教材



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

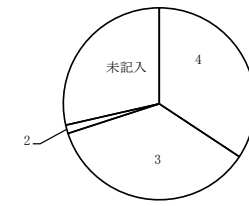
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

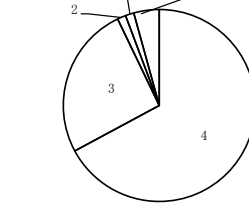
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。（紹介されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	24	34.3
	3 役立った	25	35.7
	2 あまり役立たなかった	1	1.4
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	20	28.6
14. 宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（課されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	47	67.1
	3 役立った	18	25.7
	2 あまり役立たなかった	1	1.4
	1 全く役立たなかった	1	1.4
	未記入	3	4.3
15. 講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	49	70.0
	3 ほぼ適切である	18	25.7
	2 あまり適切でない	3	4.3
	1 適切でない	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. 講義内容ほどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	31	44.3
	3 理解できた	37	52.9
	2 あまり理解できなかった	1	1.4
	1 全く理解できなかった	1	1.4
	未記入	0	0.0

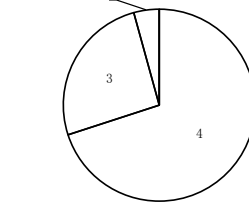
13. 教科書・参考書



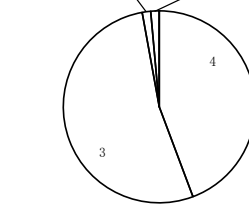
14. 宿題・演習



15. 質問・相談



16. 理解



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年1学期）

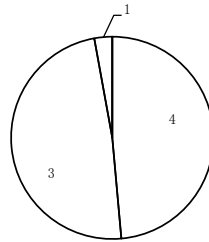
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

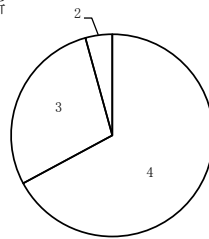
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
17. 講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	34	48.6
	3 概ね適切だった	34	48.6
	2 あまり適切でなかった	0	0.0
	1 全く適切でなかった	2	2.9
	未記入	0	0.0
18. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	47	67.1
	3 ある程度満足した	20	28.6
	2 あまり満足しなかった	3	4.3
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

17. 難易度



18. 総合判断



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

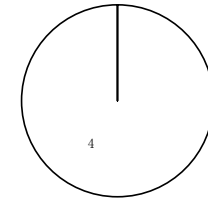
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

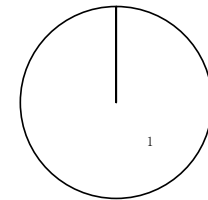
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	1	100.0
	3 80~89%	0	0.0
	2 70~79%	0	0.0
	1 70%未満	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 授業時間以外に、この授業に関連する学習（予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強（予定も含む）等）を適当たりどの程度しましたか？	4 2時間程度以上	0	0.0
	3 1時間程度	0	0.0
	2 30分程度	0	0.0
	1 全くしなかった	1	100.0
	未記入	0	0.0
3. この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	1	100.0
	3 熱心に取り組んだ	0	0.0
	2 あまり熱心に取り組まなかった	0	0.0
	1 全く熱心に取り組まなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
4. 授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	1	100.0
	3 有用だった	0	0.0
	2 あまり有用でなかった	0	0.0
	1 有用でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

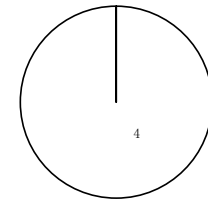
1.出席



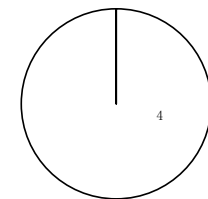
2. 自主学習



3. 興味



4. シラバス内容



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

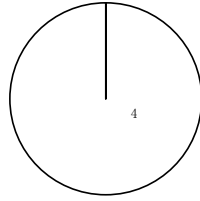
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

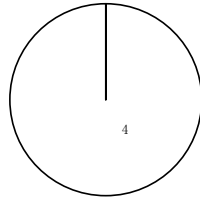
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 授業概要(シラバス)に そって授業が 行われていま したか。	4 行われていた	1	100.0
	3 だいたい行われていた	0	0.0
	2 あまり行われていなかった	0	0.0
	1 全く行われていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 内容の系統的 整理などの 講義に関する 準備はよくされ ていたと思いま すか。	4 よくされていた	1	100.0
	3 されていた	0	0.0
	2 あまりされていなかった	0	0.0
	1 極めて不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0
7. 講義につい て教員の熱意 を感じました か。	4 大いに感じた	1	100.0
	3 感じた	0	0.0
	2 あまり感じなかった	0	0.0
	1 全く感じなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 講義を進め る速度は適切 でしたか。	4 適切だった	1	100.0
	3 概ね適切だった	0	0.0
	2 あまり適切でなかった	0	0.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

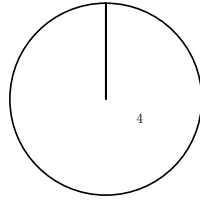
5. 適合性



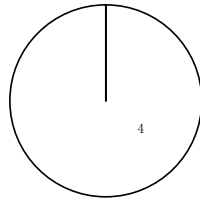
6. 講義の準備



7. 教員の熱意



8. 講義の速度



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

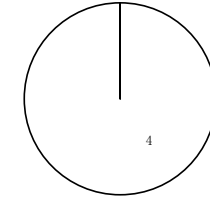
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

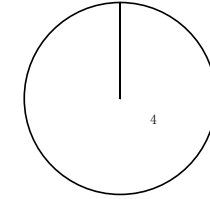
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. オンライン・ オンデマンド講 義を受講する 上で、教材は 受信しやす かったですか。	4 全く問題なし	1	100.0
	3 ほとんど支障なし	0	0.0
	2 時々支障あり	0	0.0
	1 ほとんど受講出来なかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
10. パワーポ イントや板書、 資料等の文字 は、読み易 かったですか。	4 大変読み易かった	1	100.0
	3 読み易かった	0	0.0
	2 読みにくかった	0	0.0
	1 非常に読みにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. 説明は良 く聞き取れま したか。	4 よく聞き取れた	1	100.0
	3 聞き取れた	0	0.0
	2 聞き取りにくかった	0	0.0
	1 聞き取れなかった	0	0.0
	3 未記入	0	0.0
12. 講義に関 する動画や資 料の配布が あった場合、講 義内容の理解 に役立ちまし たか。(ない場 合は、入力不 要です。)	4 大いに役立った	0	0.0
	3 役立った	0	0.0
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	1	100.0
	未記入	0	0.0

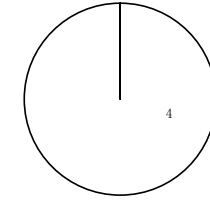
9. 受信



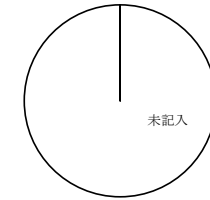
10. 教材



11. 説明の仕方



12. 資料・教材



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

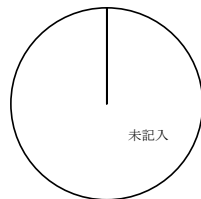
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

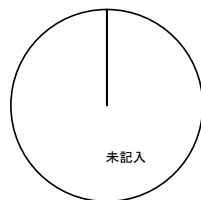
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。（紹介されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	0	0.0
	3 役立った	0	0.0
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	1	100.0
14. 宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（課されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	0	0.0
	3 役立った	0	0.0
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	1	100.0
15. 講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	1	100.0
	3 ほぼ適切である	0	0.0
	2 あまり適切でない	0	0.0
	1 適切でない	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. 講義内容はどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	1	100.0
	3 理解できた	0	0.0
	2 あまり理解できなかった	0	0.0
	1 全く理解できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

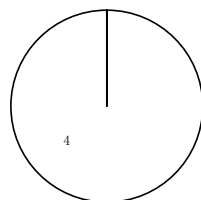
13. 教科書・参考書



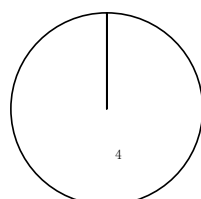
14. 宿題・演習



15. 質問・相談



16. 理解



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年2学期）

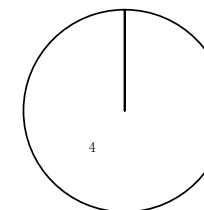
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

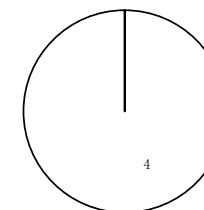
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
17. 講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	1	100.0
	3 概ね適切だった	0	0.0
	2 あまり適切でなかった	0	0.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
18. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	1	100.0
	3 ある程度満足した	0	0.0
	2 あまり満足しなかった	0	0.0
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

17. 難易度



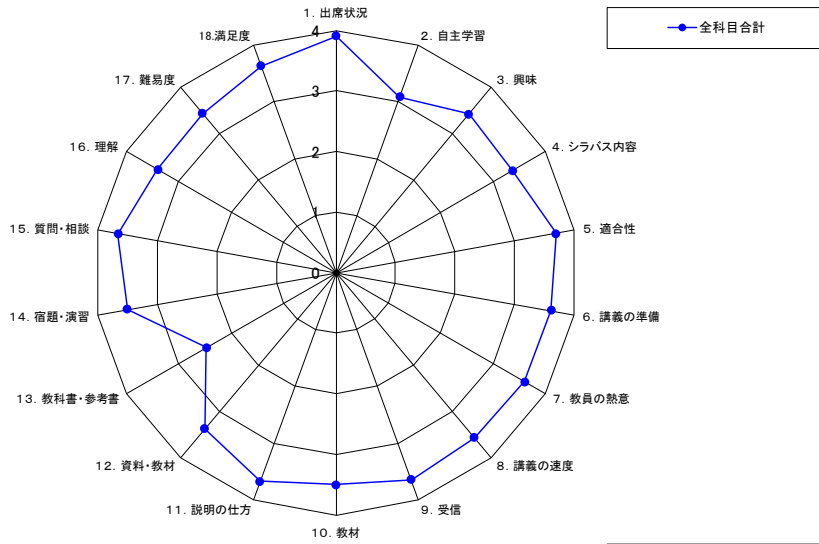
18. 総合判断



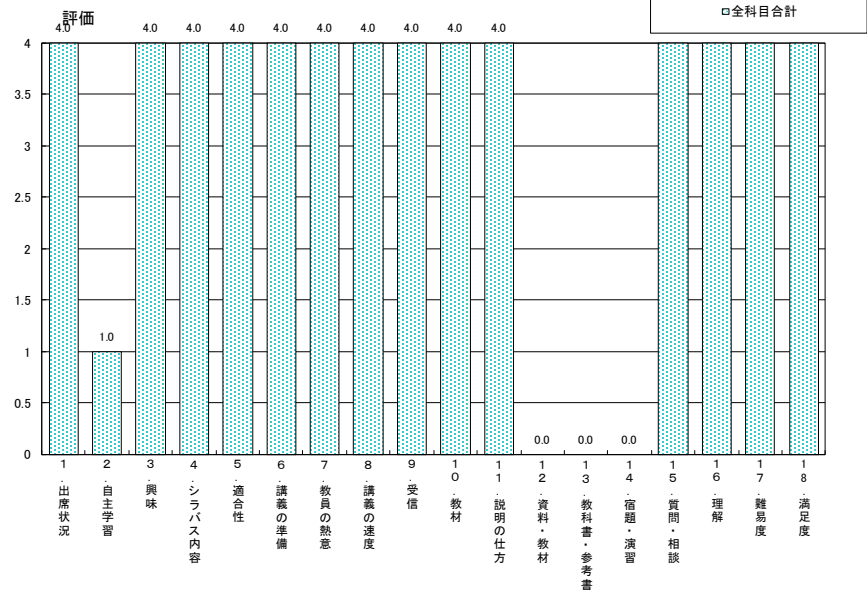
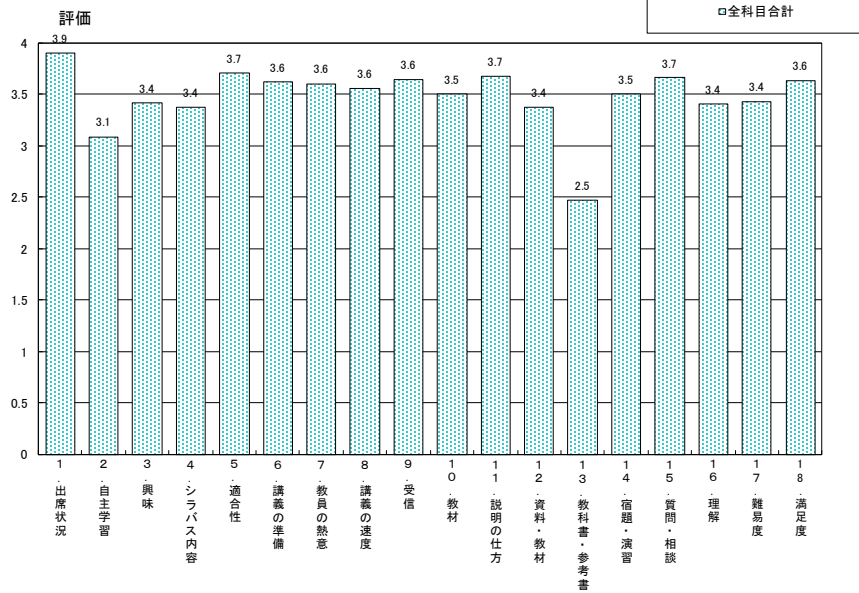
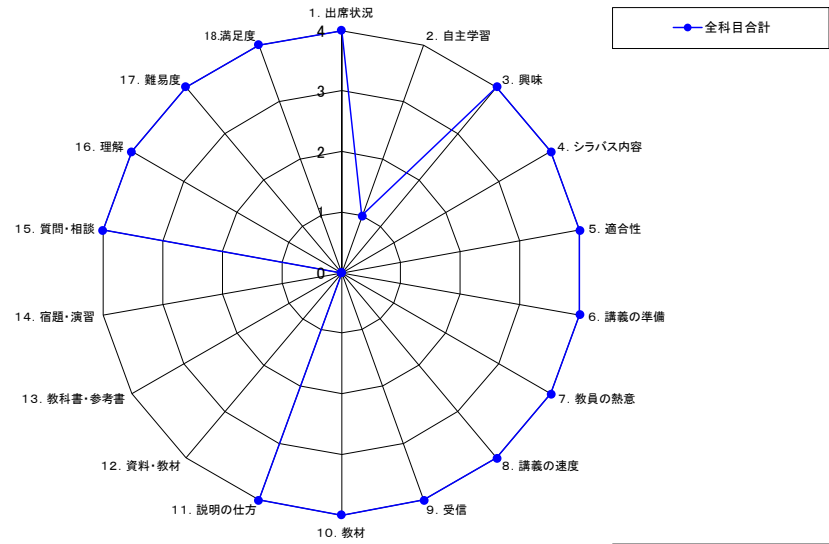
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する 4 段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席状況は 1 学期 3.9 であった。他にも、1 学期は適合性、講義の準備、教員の熱意、受信、教材、説明の仕方、質問・相談、難易度の評価が高く、総合評価とも 3.5 を超える値であった。一方、自主学習は僅かに下がって 1 学期 3.1 であった。一方、1 学期教科書・参考書は 2.5 と最も低かったが、教科書・参考書を使用しない講義が含まれている可能性がある。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和4年1学期)
全科目合計



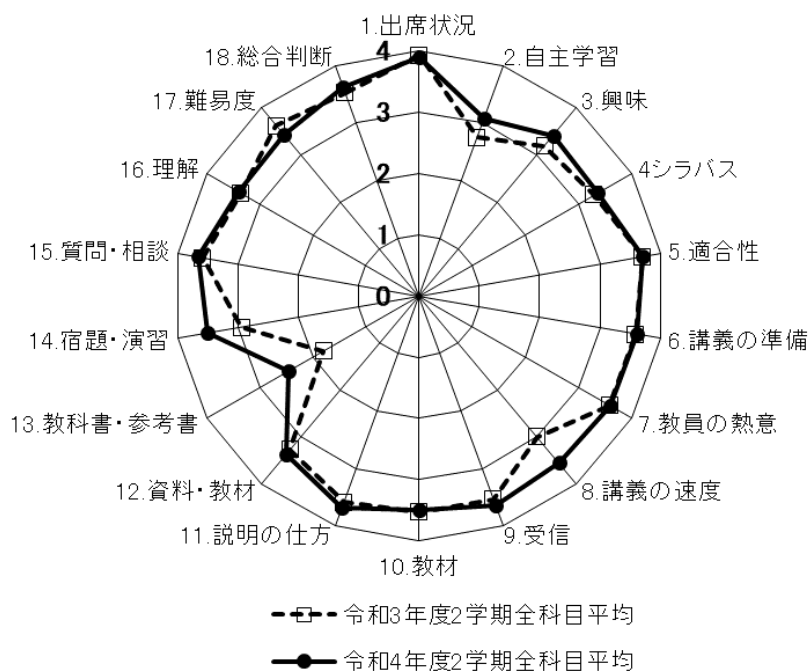
東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和4年2学期)
全科目合計



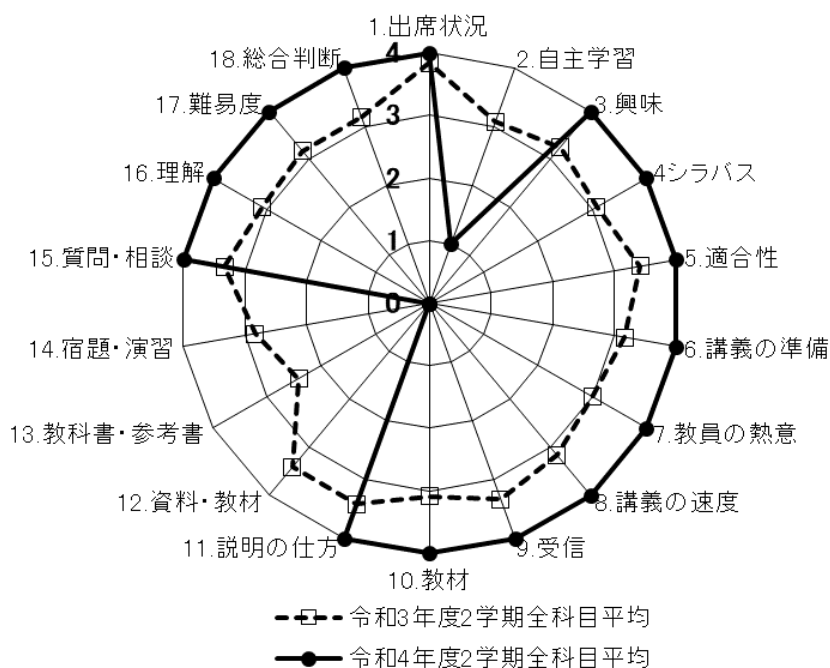
○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(令和2年度実施)と異なっており、7つの項目(項目番号6、9、10、13、14、15、16)が新たに加わり、5つの設問が除かれた。比較可能な項目の中で1学期は、講義の進度以外はほぼ同じ評価であったのに対して、2学期は出席状況以外のいずれの項目も評価が低下しており、コロナ禍のため対面講義が行えなかった影響もあったかもしれないが、改善が必要と判断される。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. 参考資料

- 1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙(QRコード) (令和4年度)
- 2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率) (令和4年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について

授業評価アンケート（R4前期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/CDHI3ZZN>



学部実験用

<https://questant.jp/q/CSN2GG6K>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/EOMSN3XA>



授業評価アンケート（R4後期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/MVGWWICT>



学部実験用通年

<https://questant.jp/q/CSN2GG6K>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/7W9UO6HS>



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年度1学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	70	945	7.4%
AM1111	水圏植物生態学特論	6	31	19.4%
AM1112	食品化学特論	0	10	0.0%
AM1121	微生物科学合同講義	0	10	0.0%
AM1131	水圏資源生態学特論	0	32	0.0%
AM1132	草地科学特論	0	5	0.0%
AM1133	微生物学特論	0	6	0.0%
AM1141	地域資源計画学特論	0	6	0.0%
AM1151	水圏動物生理学特論	2	2	100.0%
AM1211	分子細胞生物学特論	8	11	72.7%
AM1221	園芸生産システム学特論	0	4	0.0%
AM1222	動物機能形態学特論	0	33	0.0%
AM1223	食品機能開発学特論	0	35	0.0%
AM1231	土壌学特論	3	6	50.0%
AM1242	動物生殖科学特論	0	4	0.0%
AM1251	食の安全	1	57	1.8%
AM1332	栽培植物環境科学特論	1	15	6.7%
AM1333	動物食品機能学特論	0	16	0.0%
AM1334	食品機能分析学特論	0	17	0.0%
AM1341	植物生命科学合同講義	13	24	54.2%
AM1351	水圏生物生産科学合同講義	1	21	4.8%
AM1411	環境適応植物工学特論	4	5	80.0%
AM1421	水産資源化学特論	0	1	0.0%
AM1422	動物微生物学特論	7	27	25.9%
AM1424	海洋生命遺伝情報学特論	0	7	0.0%
AM1431	動物生理科学特論	0	13	0.0%
AM1512	動物栄養化学特論	0	1	0.0%
AM1522	植物病理学特論	4	4	100.0%
AM1523	栄養生理学特論	0	16	0.0%
AM1531	生命圏倫理学	0	119	0.0%
AM1551	実践科学英語	6	7	85.7%
AM1605	災害復興合同講義	0	62	0.0%
AM17021	生物共生科学特論	0	21	0.0%
AM1704	複合生態フィールド科学専門実習	0	18	0.0%
AM1705	農林水産政策学特論	0	22	0.0%
AM2101	Food & Agricultural Immunology	0	58	0.0%
AM3301	大学院農学研究科で学ぶ	3	115	2.6%
AM3302	農学データサイエンス演習	11	25	0.0%
AM3303	スマート農業入門	0	65	0.0%
AM6002	International Development Stud	0	14	0.0%

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和4年度2学期）

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	1	264	0.4%
AM1241	国際開発学特論	0	4	0.0%
AM1331	環境経済学特論	0	10	0.0%
AM2213	生物有機化学特論	0	10	0.0%
AM2221	生物資源利用学	0	21	0.0%
AM2251	知財と産業開発	0	34	0.0%
AM2332	生物海洋学特論	0	10	0.0%
AM2351	動物遺伝育種学特論	0	2	0.0%
AM2421	作物生産学特論	0	9	0.0%
AM2422	応用昆虫学特論	1	2	50.0%
AM2432	農業経営学特論	0	8	0.0%
AM2511	植物育種学特論	0	6	0.0%
AM2601	生物多様性共生学	0	90	0.0%
AM2701	沿岸環境生物学特論	0	25	0.0%
AM2702	複合生態フィールド制御学特論	0	1	0.0%
AM3101	資源環境経済学特別演習Ⅰ	0	13	0.0%
AM31011	資源環境経済学特別演習Ⅱ	0	8	0.0%
AM3201	天然物合成化学特論	0	2	0.0%
AM3304	国際活動実習	0	1	0.0%
AM6001	Food Economics	0	8	0.0%

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学研究科の学生による授業評価の実施について

令和4年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される授業科目(前期課程対象)について実施します。
2. 実施方法
授業担当教員から配布されるURLまたはQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答してください。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

令和4年5月

農 学 研 究 科 長

掲 示

学 生 各 位

農学研究科の学生による授業評価の実施について

令和4年度第2学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第2学期に開講される授業科目(前期課程対象)について実施します。
2. 実施方法
授業担当教員から配布されるURLまたはQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答してください。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

令和4年11月

農 学 研 究 科 長

令和4年5月16日

農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いいたします。

記

1. 対象授業科目について

第1学期に開講される農学研究科授業科目（前期課程）について実施します。**受講者数に関らず全科目が対象となります。**ただし、全学で実施している合同講義の読替え科目については対象となりませんので、**その場合は教務係までご連絡願います。**

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終回をお願いします。

(2) 実施方法について

授業を担当している先生方は、授業の最終回にウェブアンケートのURLまたはQRコードを講義資料やGoogle Classroom等にて学生へ周知いただき、回答するよう指示をお願いします。

<https://questant.jp/q/EOMSN3XA>

また、授業の最終回を対面で実施する場合は、授業終了15分前頃に各講義室の教卓に配置しているウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取って回答するよう指示をお願い致します。

(3) QRコード読み取り用紙の回収について

QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、教卓（教務係）へお戻しいただくようお願いいたします

(4) 学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう周知しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート結果は集計後、各担当教員に公表します。

(3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

令和4年11月14日

農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第2学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いいたします。

記

1. 対象授業科目について

第2学期に開講される農学研究科授業科目（前期課程）について実施します。**受講者数に関らず全科目が対象となります。**ただし、全学で実施している合同講義の読替え科目については対象となりませんので、**その場合は教務係までご連絡願います。**

2. 実施日時・方法等

(1) 実施日時について

授業評価の実施は原則として、講義の最終回をお願いします。

(2) 実施方法について

授業を担当している先生方は、授業の最終回にウェブアンケートのURLまたはQRコードを講義資料やGoogle Classroom等にて学生へ周知いただき、回答するよう指示をお願いします。

<https://questant.jp/q/7W9U06HS>

また、授業の最終回を対面で実施する場合は、授業終了15分前頃に各講義室の教卓に配置しているウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取って回答するよう指示をお願い致します。

(3) QRコード読み取り用紙の回収について

QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、教卓（教務係）へお戻しいただくようお願いいたします

(4) 学生への周知について

学生には、授業評価に協力するよう周知しています。

3. 評価結果の取り扱い

(1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。

(2) アンケート結果は集計後、各担当教員に公表します。

(3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

学生による授業評価アンケート実施結果報告書

2024年1月

編集：東北大学大学院農学研究科評価室・評価委員会

評価室長		冬木 勝仁		
評価委員会	○	上本 吉伸		大崎 雄介
	◎	小川 智久	○	加藤 一幾
		小島 創一	○	此木 敬一
		新谷 尚弘	○	角田 毅
		鳥山 欽哉		本間 香貴
		横井 勇人		

評価室員 川邊 晃一 平野 大二郎

(◎学生授業評価専門委員会委員長、○同専門委員会委員)

発行：東北大学大学院農学研究科

〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字 468-1

Tel: 022-757-4003 Fax: 022-757-4020
